

平成 28 年 8 月 10 日

貝塚市議会議長 殿

研修会参加報告書

公明党議員団

前園 隆博

日時； 平成 28 年 8 月 4 日(木)、5 日(金)

場所； 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）

研修名；平成 28 年度第 2 回市町村議会議員特別セミナー

内容； 8 月 4 日

① 講義 「医療機関・住民とともに地域医療を支える取組」

自治医科大学 地域医療センター長 梶井英治

地域医療とは、住民の健康問題のみならず、生活の質にも注目しながら、住民一人ひとりに寄り添って支援していく医療活動

1) 日本の社会と医療

2025 年には 75 歳以上が人口の約 18%を占める

高齢化、疾病の慢性化、複合化、人間関係の過疎化

⇒ 疾病の予防、継続的ケア、闘病への支援（介護、リハビリ）、

QOL(生活の質)の向上、生きがい感の回復、他職種との連携（チーム医療）

2) 国の医療政策の現状と課題

新公立病院改革ガイドライン

経営効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直し、地域医療構想を踏まえた役割の明確化

3) 都道府県、2次医療圏及び市町村の医療対策の現状と課題

地域医療の充実・発展にむけて、地域医療データに基づいた地域医療政策の立案の実施

4) 地域医療を担う医師の育成

患者及び地域社会のニーズに応じて自らを柔軟に変化させ、それに応えることができる医師

住民が参加する地域医療づくり

地域医療を守り・育てる住民活動

地域医療は、医療者、地域、行政、議員が一緒に作るもの

事例 1 西脇市の地域医療を守る条例

事例 2 小山市地域医療推進基本計画の策定

② 講義 「地域まるごとケア（医療の現場から）」

東近江市永源寺診療所 所長 花戸高司

永源寺地域での「在宅医療」

寝たきりや認知症であっても、また老夫婦、一人暮らしであっても在宅で生活することは可能。ただし、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、ホームヘルパー、デイサービススタッフ、ケアマネージャー、行政、家族、ご近所の方々などの連携が必要。

永源寺での「地域包括ケア」

地域まるごとケア、在宅医療は、高齢者が「生きる」ことを若い人たちに伝える絶好の機会。

永源寺で「地域とともに」

地域医療とは、地域で「医療を行う」というだけでなく、医療をとおしての「地域づくり」

8月5日

① 講義 「介護予防の公的責任と自治体」

埼玉県和光市保健福祉部 部長 東内京一

和光市における超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの実践

マクロの計画策定とミクロのケアマネジメント支援

第7期介護保険事業計画を見据えて

保険者機能の強化～介護予防の横展開～

要介護度、介護費等の分析と課題抽出

具体的な数値目標の設定・達成度の評価

市町村の取組みへのインセンティブ付け等

地域包括ケアシステムについて～社会保障の背景から国の施策を知る

地域包括ケアが求められる理由（在宅・予防視点）

2025年の高齢社会を踏まえると

① 高齢者の生活課題の増大

② 単独世帯の増大

③ 認知症を有する者の増大

⇒ 介護保険サービス、医療保険サービス、見守り、生活支援、成年後見等の権利擁護、

住居の保障、低所得者への支援などの有機的連携

地域包括ケアシステムにおける「構成要素」

1) 住まいとすまい方

2) 介護・医療・予防

3) 介護予防・生活支援

4) 本人の選択と心構え

和光市の地域包括ケアシステム～日常生活圏域のニーズ調査から介護予防の取り組み

① マクロの計画策定（市役所）

- 1) 高齢者個別の課題及び地域の課題を把握
  - 2) 介護保険事業計画等に反映
  - 3) 地域包括支援ネットワークを構築
- ② ミクロのケアマネジメント支援（地域包括）  
和光市コミュニティケア会議  
個々のケアマネジメント支援、要介護者・家族に対する支援

#### 第6期基本方針

- 1) 「介護予防」及び「要介護度の重度化予防」による自立支援の一層の推進
- 2) 在宅介護と在宅医療の連携及び施設や病院における入退院時の連携を、ICTの活用とコミュニティケア会議により高次化することによる在宅介護の限界点の向上
- 3) 地域包括ケアシステムの構築を念頭においた地域密着型サービス拠点の整備と地域における互助力の充実を図ることによる、サービス提供事業者と地域互助力との協働による介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- 4) 地域及び個人の課題を解決するための地域包括支援センターによる包括ケアマネジメントの推進とさらなる強化
- 5) 認知症を発症しても地域で暮らし続けられるよう、認知症高齢者の全ての状態に対応することができる地域体制の構築
- 6) 高齢者介護・障害者福祉・子ども子育て支援・生活困窮者施策を一元的にマネジメントする「統合型地域包括支援センター」の設置による「地域包括ケアシステムの包括化」の実現

市独自の在宅医療・介護連携の推進、地域ケア会議の充実を地域支援事業へ移行。

ミクロのケアマネジメント支援  
地域ケア会議を活用して

- ② 講義 「地域を健康にするまちづくり -Smart Wellness City-」  
人間総合化学研究科スポーツ医学専攻 教授 久野譜也

健康づくり無関心層を動かすインセンティブと健康まちづくり  
なぜインセンティブ策が必要なのか

- 1) これまでの健康づくり施策のみでは効果が小さいため、成果の出る施策が求められた。
- 2) 自助の強化の具体的な施策として位置付けられている。
- 3) ポピュレーションアプローチ及び無関心層対策への具体策としての効果が期待されている。
- 4) ICTや健康サービス産業、及び地域経済への活性化も期待されている。

インセンティブ策で歩数の増加を導ければ医療費の抑制が期待できる。

以上